

数学科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
基礎・基本的な知識を習得し、それを使って計算することができる力	問題の特徴や本質を捉え、それを解決するために思考する力

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手立て	手立ての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 定期検査において、複雑な計算をする設問の正答率が低い結果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> ア 授業で学習した内容を活用しながら課題解決をすることを苦手とする生徒が多い。思考力・判断力・表現力向上を目指して、継続して取り組む必要がある。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の授業で、問題演習の時間を設ける。また、ロイロノートなどを振り返りなどに有効活用する。 課題解決型の問題を提示し、自己内対話を中心とした、対話的な授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストは小単元ごとに実施し、単元テストも実施し単元ごとの理解度も計る。 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 定期検査や単元テスト、小テストにおいて、小数や分数を含む計算や複雑な計算において正答率が低いという課題が見られた。 <input checked="" type="checkbox"/> ア 授業で学習した内容を活用する問題を不得手とする生徒が多い。課題解決力を伸ばす必要がある。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の授業で、問題演習の時間を設ける。また、学びの軌跡(振り返りシート)を活用し、自己の課題や発展的な学習内容などを追及し探求する活動を取り入れる。 課題解決型の問題を提示し、話し合い(学び合い)などを中心とした授業を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小単元ごとに小テストを行い、毎時間の最後5分は、学びの軌跡に取り組む時間とする。 単元末に課題解決型の問題を提示する。 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算と共に複雑な計算を必要とする設問の正答率は改善の傾向にある。 <input checked="" type="checkbox"/> ア 一方、数学的な見方や考え方を必要とする設問に関しては課題がみられる。 <input checked="" type="checkbox"/> イ 	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習の時間に、個別に対応する機会を設け、継続して計算力を伸ばしていく。 課題解決型の問題を提示し、対話などを中心とした、授業展開で考える力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストは2週に1回程度。 各単元終了時に単元のまとめテストを実施。 レポートの実施。 	

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について</p> <p>1年生：ロイロノートや電子黒板を活用し、他者の意見や別解などを共有し、多様な考え方方に触れられるようにする。【重点：個別】 2年生：タブレット端末を活用し、不明点や疑問点について調べ学習を自ら進め、振り返りシートにまとめていく。【重点：個別】 3年生：数学的な見方や考え方を必要とする設問に対し、タブレット端末を活用し、意見を共有しながら学び合う。【重点：協働】</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>・単元冒頭に導入として、今単元の学びが役立つ場面を紹介し、学習の目的意識を明確にする。 ・授業後には、学びの軌跡に学んだこと、考えたことを記入し、必要に応じて個別に課題に取り組ませる。</p>
--	---